

第3章

秋田の目指す将来の姿

1 目指す将来の姿～「高質な田舎」を目指して～

本県は将来の発展につながる様々な資源や大きな可能性を有しており、経済のグローバル化の進行や第4次産業革命の進展など、本県を取り巻く情勢が大きく変化していく中、時代の大きな流れをしっかりと踏まえつつ、秋田の強みを最大限に生かしながら、本県の持続的な発展を目指していかなければなりません。

そのためには、中長期的な視点に立って本県が進むべき方向性を示す羅針盤が必要であり、『プラン』がその役割を果たすものであります。

高質な田舎として「豊かな自然や受け継がれてきた多様な文化など『秋田の原点』を守りつつ、ここに住む県民の誰もが、一人ひとり素養を磨き、豊かな心を持ち、お互いを慈しみ合いながら、新たな産業や新たな文化の創造にチャレンジしていく姿」を思い描きながら、10年後の秋田が目指す将来の姿を、未来に向かって果敢に挑戦を続ける「時代の変化を捉え力強く未来を切り拓く秋田」とし、その実現を目指していきます。

2 時代の変化を捉え力強く未来を切り拓く秋田

おおむね10年後の姿として、各分野において次のような具体像が実現している姿を目指します。

（1）人口減少が抑制され、地域で安心して暮らせる秋田

①人口減少の抑制

女性や若者の県内定着が進んでいるほか、首都圏等からの移住者も増加し、人口の社会減が解消されています。また、若い世代の結婚・出産・子育ての希望がかない、出生数減にも歯止めがかかっています。

- 女性や若者をはじめ、広く県民にも魅力ある雇用が創出され、県内の新規高卒者や大卒者等の県内就職率が大きく向上し、県内定着に結び付いているほか、県内から県外大学へ進学した若者の県内回帰が進んでいます。

また、首都圏からの移住者等が県内各地で、多様な働き方を実践しながら、地域の元気を創出するための活動に積極的に取り組んでいます。

- 日本一の子育て環境のもと、家庭を持ち子どもを産み育てたいという希望がかなうとともに、女性が幅広い分野で生き生きと活躍し、男女とも仕事と家庭の両立ができる環境が整っています。

②安心して暮らせる地域の形成

県・市町村間の協働により安定的な行政サービスが提供されるとともに、NPO等の多様な主体による共助を通じて地域課題の解決が進み、県民の安全・安心な生活が確保されています。

- 県と市町村間の協働等により、必要な行政サービスの水準が確保されています。また、雪対策、買い物支援、地域交通など、住民やNPO等の多様な主体による共助が進み、県民が住み慣れた地域で安心して生活しています。

- 県内各地で、若者を中心として地域に活力を吹き込む活動が展開されるなど、住民主体による地域活性化の取組が活発となっています。
- 自動運転技術を活用した生活交通の整備やICTを生かした見守りなどの最新のイノベーションの活用により、住民生活の利便性が向上しています。また、各種インフラ施設がICTを生かして効率的に管理されています。

（２）産業競争力が強化され魅力ある雇用が創出される秋田

①産業競争力の強化

県内企業の連携促進やイノベーションの活用により、企業の競争力が強化されるとともに、県外への売り込みが一層活発化し、魅力ある雇用が生み出されています。また、賃金をはじめとした処遇や就労環境の改善などにより、県内外から優秀な産業人材が集まり、必要な労働力が確保されています。

- IoTやAIなど最先端技術の活用等による商品開発や、生産性向上に向けた取組が進み、県内企業の競争力強化が図られています。また、本県経済を牽引する中核企業を中心に企業間連携によるサプライチェーンの形成が進むとともに、県外等への売り込みが活発化し、地域の魅力ある雇用の拡大につながっています。
- 本県経済の発展に大きな効果が期待される成長分野に挑む企業や世界レベルで活躍するベンチャー等が県内に数多く参入し、イノベーションの更なる創出にも寄与しています。
- 県内企業において、賃金をはじめとした処遇や就労環境の改善が進んでいます。また、県内産業の担い手となる人材の安定的な確保・育成が図られているとともに、女性や高齢者が幅広く活躍し、企業の人手不足も解消され、労働力が十分確保されています。
- 県内高等教育機関と産業界の連携により県内企業のニーズを踏まえた人材の育成やスキルアップが図られているほか、就業構造の変革にも対応できるスキルを身に付けるための、社会人向けリカレント教育など「学び直し」を行う環境が整っています。

②農林水産業の成長産業化

複合型生産構造への転換が大きく進展しているとともに、農林水産業の生産性向上と、高付加価値化が図られ、本県農林水産業の成長産業化が進んでいます。

- 県内各地で、多様な担い手が工夫に満ちた取組を展開し、本県農林水産業の成長を支えています。
また、メガ団地等での周年農業の普及拡大等により通年雇用の方が拡大しています。
- 稲作に加え、園芸作物、畜産など、複合型生産構造への転換が進んでいるとともに、ICT等先端技術を活用した効率的な生産体制の構築や、企業とタイアップした新商品の開発と市場ニーズに対応した販路拡大などを通じて、競争力の高いブランド産地の形成が図られ、秋田ならではの強みを生かした農業の成長産業化が実現しています。
- CLTや木鉄ハイブリッドなど新たな木質部材の実用化が進み、幅広い需要を開拓するなど、県産材の活用が多方面で進んでいます。また、低コストで安定的な丸太供給体制の確立や木材加工施設の整備が進み、木材需要の拡大に対応できる体制が構築されています。

- 収益性の高い新たな魚種に係る種苗生産技術の確立や科学的データに基づく適切な資源管理等により、水産資源の維持・増大が図られています。また、水産業における生産の効率化、流通の合理化、担い手の確保・育成が進み、本県の漁村地域の活性化につながっています。

（３）交通ネットワークが確立し交流が拡大する秋田

①交通ネットワークの確立

道路、鉄道、航空路などの交通ネットワークが充実し、国内外との人やものの交流が拡大するとともに、地域における生活交通の利便性が向上しています。

- 奥羽・羽越新幹線の実現に向けた取組などが進み、高速交通体系の更なる充実への期待が高まっています。また、高速道路ネットワークの確立により、県民や企業にとって利便性が格段に向上するとともに、首都圏などからのアクセス機能が強化され交流人口の拡大につながっています。
- 国内航空路線の充実が図られているほか、台湾、韓国、タイ、中国などとの国際航空便が数多く就航しています。
- 自動運転などの技術革新や規制緩和が進み、地域の実情に応じた多様な公共交通ネットワークが整備されています。また、地域に根ざして運行されている第三セクター鉄道が、国内外の観光客の人気を集め、魅力ある観光コンテンツとなっています。

②観光、文化、スポーツ等による交流人口の拡大

観光が産業として確立するとともに、「秋田の食」のブランド化が進んでいるほか、文化とスポーツが地域を盛り上げ、国内外との人やものの活発な交流を生み出しています。

- 各地に設立されたDMOなどを中心に、マーケティングに基づく本県ならではの魅力ある観光コンテンツづくりや、最先端技術を活用した観光客の受入環境の向上などにより、国内外から多くの観光客が本県を訪れ、観光関連産業が産業として確立しています。
- きりたんぼや稲庭うどん、高品質な日本酒など、ブランド化された「秋田の食」を中心として、県産食品の販売額が国内外で増加し、食品産業が成長を続けるとともに、魅力的な誘客コンテンツとして活用されています。
- 多様な伝統芸能や伝統的工芸品等が地域でしっかりと保存・伝承されているほか、新たな文化活動や伝統芸能の発表等が活発に行われ、地域の元気創出にも貢献しています。
- 県民誰もが気軽にスポーツを楽しんでいるほか、県出身のスポーツ選手が国内外で活躍しています。また、地域密着型のトップスポーツチームが人気と実力を合わせ持ちながら、地域に活力を生み出しているほか、全国規模の大会や国際大会等が開催され、スポーツを通じて国内外との交流人口が拡大しています。

（４）県民が健康に生き生きと暮らし、多様な人材が育つ秋田

①県民の健康づくり

「健康寿命日本一」を達成し、元気な高齢者等が県内各地で生き生きと活躍しているほか、充実した医療・福祉サービスが全県域で提供され、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせ

る環境が整っています。

- ビッグデータ等の活用により、地域や職域における自主的な健康づくりの取組が活発化し、健康寿命が大きく延伸しています。
- 医師・看護師等の医療人材が確保されているほか、対面診療と遠隔診療の適切な組み合わせやAIなど最新技術の活用が進み、地域に充実した医療提供体制が整っています。
また、ICTや介護ロボット等の利活用や、元気な高齢者など地域住民の参加による共助の進展などにより、福祉分野等における人手不足解消に向けた取組が進んでいます。
- 地域包括ケアシステムの推進とともに、「地域共生社会」の実現により、誰もが住み慣れた地域で互いに支え合いながら、生き生きと暮らしています。

②多様な人材の育成

本県の優秀な児童生徒が、更に一人ひとりの可能性を高められる質の高い教育環境が整っています。また、県内高等教育機関が、人材育成と社会貢献などにより本県の成長に大きな役割を果たしています。

- 小学校、中学校、高校において、子ども一人ひとりに目を配りながら、それぞれの多様性を尊重したきめ細かな教育が実践され、児童生徒が、時代の変化に柔軟に対応して活躍できる能力を身に付けています。
- 県内の高等教育機関において、各校の強みや特色を生かした教育が行われ、県内外から多くの優れた学生を呼び込むとともに、産業界のニーズに的確に対応し、地域で活躍できる人材を輩出しています。また、人口減少下における様々な地域課題解決に向けた提案や取組などを通じて、「地（知）の拠点」として、幅広く地域に貢献しています。
- 児童生徒が本県の文化芸術に日常的に触れて学ぶ環境が整っています。
また、若者から高齢者まで多くの県民が歴史や文化などを学び、身に付けた知識を生かしながら、自ら進んで地域づくり活動に参画しています。さらに、県民が読書に親しみやすい環境づくりが進み、県民一人ひとりが、それぞれのライフスタイルに応じた読書活動を楽しんでいます。

（５）安全安心で暮らしやすい秋田

①県土の保全・防災力強化

災害に負けない強靱な県土が形成されているとともに、地域の防災力が高まり、県民の生命と財産が守られています。

- 中小河川の改修や海岸整備、土砂災害対策が進められ、津波、水害、土砂災害等から県民の生命と財産が守られています。
- 県や市町村において、災害救助用物資の備蓄や災害時の情報伝達機能が充実しているほか、地域の自主防災組織のネットワーク化などにより、災害時における地域の対応能力が向上しています。

②環境の保全と美しい自然の継承

省エネに向けた取組が進み、豊かな水と緑あふれる秋田がしっかりと引き継がれています。

- 家庭や事業所において、省エネに関する取組が広く普及するとともに、県民総参加による地球温暖化防止対策が進んでいます。
- 森林や里山、水辺環境など、秋田の豊かな自然の中で、生物の多様性が確保されているほか、野生鳥獣の適正な保護管理が行われています。また、県民、NPO、企業等の様々な主体により、「豊かな水と緑あふれる秋田」づくりが進んでいます。

③安全・安心な生活環境

快適で安らげる環境が整備されているほか、事故や事件の少ない、日本一安全な地域となっています。

- 自主防犯や交通安全の意識が県民一人ひとりに定着し、犯罪や交通事故が少ない、日本一安全で安心な秋田となっています。
- 安全で利便性の高い道路環境が整備されているほか、冬期の除排雪が充実しているなど県民が四季を通じて快適に暮らせる生活環境が整っています。

④ICTの活用による利便性の高い生活環境

通信インフラの整備が進んでいるほか、県民生活の幅広い分野でICTの活用が進み、県民の快適な生活を支えています。

- 県全域に様々な情報通信基盤の整備が進んでいるほか、ICT等を活用した行政サービスや民間によるサービスが、幅広い分野において、県民生活の利便性向上に結び付いています。
- 県、産業界、高等教育機関等が連携して、ICTの利活用による地域課題の解決に向けて取り組んでおり、そこから先駆的なビジネスモデルが創出されています。

3 目指す将来の姿の実現に向けた『プラン』の推進方針

「時代の変化を捉え力強く未来を切り拓く秋田」の実現に向けて、『プラン』においては、次の推進方針に基づき、施策・事業を展開していきます。

(1) 人口減少の克服を最重要課題に位置づけ

『プラン』では、人口減少の克服を最重要課題に位置づけつつ、目指す将来の姿の実現に向けて、県を挙げて全力で取り組んでいきます。

(2) 「攻め」と「守り」の両面から人口減少を克服

『プラン』においては、次に掲げる「人口減少の克服に向けた基本的な考え方」に基づき、直接的な人口減少対策である「攻め」の取組と、人口減少下にあっても県民の安全・安心な生活を確保する「守り」の取組の両面から、人口減少の克服に向けて取り組みます。

人口減少の克服に向けた基本的な考え方

【「攻め」の取組】

～「産業振興を通じた仕事づくりによる人口流出の歯止め」「首都圏から秋田への人の流れの創出」「結婚・出産・子育てに関する希望の実現」

県内企業の成長分野への参入や農業の複合型生産構造への転換等の産業振興を通じた魅力ある仕事づくりと、働きやすい職場環境の整備を図りながら、質の高い雇用の場を創出し、女性や若者の県内定着を図り、人口流出に歯止めをかけます。

また、大学生等、若者の県内回帰の促進や、首都圏等からの移住者の呼び込みにより、秋田への人の流れを創り出します。

併せて、結婚、出産、子育てに関する県民の希望を実現し、出生数の減少に歯止めをかけます。

《主な取組》

① 産業振興を通じた仕事づくりによる人口流出の歯止め

- ・自動車関連企業のサプライチェーン形成等による競争力強化とEV化対応
- ・IoT・AI技術等の導入促進など、ものづくり産業のイノベーションの推進
- ・少子高齢化社会におけるニーズを捉えた新サービスの創出と販路拡大
- ・メガ団地等の大規模園芸拠点の全県展開
- ・日本一を目指す「しいたけ」の生産振興と販売促進
- ・出荷量日本一の「えだまめ」の更なるブランド化の推進
- ・「働き方改革」の推進と女性や若者、高齢者等が働きやすい環境の整備
- ・ICT人材の確保・育成の推進

- ・女性の復職や個人のキャリアアップ等を支援するリカレント教育の推進
- ② 若者の県内定着・回帰や首都圏等からの移住促進
 - ・大学生と県内企業とのマッチング機会の提供等による県内就職の促進
 - ・高校生一人ひとりの進路希望に応じたきめ細かな県内就職の支援
 - ・秋田暮らしの魅力発信と多様なニーズに対応した移住の促進
- ③ 結婚から出産、子育てに関する県民の希望の実現
 - ・「あきた結婚支援センター」の機能強化によるマッチング事業の充実
 - ・保育所、認定こども園等や放課後児童クラブにおける待機児童0（ゼロ）の実現
 - ・保育料助成の更なる拡充をはじめとした子育て世帯への経済的支援の充実

【「守り」の取組】

～「健康で安全・安心な地域社会の形成」

県と市町村、市町村間相互の協働による必要な行政サービスの確保や公共インフラの共同管理等を進めるとともに、NPOなど多様な主体との協働による地域づくりや住民の共助による買い物支援など地域課題の解決に向けた取組を促進し、人口減少下にあっても県民誰もが安全・安心に暮らせる地域社会をつくります。

《主な取組》

- ① 県と市町村、市町村間の協働の推進
 - ・生活排水処理対策など、県と市町村の協働・連携の一層の推進
 - ・市町村間の連携推進や県による市町村への機能支援
- ② 県民やNPOなど多様な主体との協働による地域づくり活動の促進
 - ・地域づくりを牽引するリーダーの育成と地域活性化に向けた活動の促進
 - ・多世代の交流・協働を通じた社会活動・地域活動への参加の促進
 - ・NPOの体質強化と他団体との連携促進
- ③ 住民の共助の促進
 - ・元気ムラ活動の県全域への展開
 - ・生活サービスや地域活動の核となる「小さな拠点」形成に向けた支援
 - ・住民が運営する「お互いさまスーパー」の設置と機能強化
- ④ 地域公共交通の確保
 - ・市町村や住民と連携した地域公共交通の利便性向上・再編の促進
 - ・ICTを活用した自動運転など、次世代交通の導入に向けた検討
- ⑤ 健康寿命日本一への挑戦
 - ・「健康寿命日本一」に向けた、県民の健康意識の向上
 - ・企業における「健康経営」の促進など、健康づくりに取り組みやすい環境整備
 - ・関係団体との連携による高齢者の健康・運動指導等の推進

(3) 第4次産業革命のイノベーションの活用等により秋田新時代に対応

第4次産業革命のイノベーションは、あらゆる産業分野や社会生活を劇的に変革する可能性を有するものとして大きく期待されています。

本県においてもこうしたイノベーションを積極的に活用しながら、生産性の向上を図り、産業競争力を高めることにより、県民所得の上昇等につなげていくとともに、県民生活の身近なところで必要なサービスの提供に生かすことにより、様々な地域課題の解決を図っていくことが求められています。

また、第4次産業革命をはじめとする時代の変革にしっかりと立ち向かいながら、本県の未来を切り拓いていくためには、その原動力となる人材を育てる「人づくり」にも力を入れていくことが重要です。

そのため、今後見込まれる産業構造や就業構造の変革に対応できる人材の育成に向けて、高等教育機関等の機能強化と既に働いている人のキャリア形成等に向けた「学び直し」の場づくりなどを進めていきます。

併せて、女性や若者、高齢者など多様な人材が幅広い分野で活躍し、地域の活性化に貢献できるよう、生涯にわたって学ぶことができる機会の拡大や、「ワーク・ライフ・バランス」の実現に向けて取組を強化していきます。

時代の変革にしっかりと対応しながら、方向性を見定め、時代を先取りした施策・事業を展開することによって、秋田の新時代をつくりあげていきます。

(4) 実効性のある施策を計画的・重点的に推進

人口減少の克服をはじめとする本県が抱える様々な課題の解決に向けて、限りある行政資源を効果的・効率的に活用するため、「選択と集中」を図りながら、『プラン』に基づく施策・事業を計画的・重点的に進めていきます。

また、『プラン』の推進に当たっては、本県の置かれている現状と課題、解決に向けた対応方針などについて、県民の皆様と認識を共有するとともに、施策・事業に対する理解と協力を得ながら、「オール秋田」で取り組むことによって、その実効性を高めていきます。

4 4年間で創造する“4つの元気”

「時代の変化を捉え力強く未来を切り拓く秋田」の実現に向け、『プラン』の推進期間である平成30年度からの4年間、重点的かつ計画的に各種施策・事業を展開することによって、次の4つの元気を創造します。

元気A 人口減少の抑制と地域を守るシステムの構築

県内企業の競争力を高め、産業基盤の強化を図ることにより、魅力ある雇用を創出し、女性や若者の県内定着・回帰を促進するとともに、結婚・出産・子育てしやすい環境を充実し、出生数等の減少に歯止めをかけ、人口減少を抑制します。

併せて、地域課題の解決や行政サービス水準の確保に向けて、住民の共助や県と市町村との協働などの取組を推進し、人口減少下にあっても県民の安全・安心な生活を確保できる社会システムを構築します。

元気B 県内産業の「稼ぐ力」の向上と質の高い雇用の創出

県内企業への第4次産業革命のイノベーションの導入等を進め生産性の向上を促すとともに、時代のニーズを捉えた新商品・新サービスの創出や販路拡大を促進し、地域産業の基盤強化を図ります。また、賃金をはじめとした処遇の改善や「働き方改革」などに取り組む企業を支援し、良好な就業環境づくりを進めます。

併せて、農林水産業を担う人材の育成・確保や複合型生産構造への転換を加速させるとともに、6次産業化の促進等による付加価値の創出や新技術を活用した生産性の向上を図り、農林水産業の成長産業化を実現します。

こうした取組により県内産業の「稼ぐ力」を高め、質の高い雇用の創出につなげていきます。

元気C 交流人口の拡大と交通基盤の充実

秋田犬や秋田の伝統的な食・文化など、秋田ならではの魅力あるコンテンツの充実を図るとともに誘客プロモーションを積極的に進めるほか、観光客のニーズを踏まえた受入環境の向上に力を入れ、インバウンドを含む交流人口の拡大を図ります。

また、人やものの交流の基盤となる高速道路や鉄道、航空などの広域交通ネットワークの充実を図るとともに、地域の実情に応じた多様な地域交通ネットワークを確立します。

元気D 健康で安心な生活の実現と未来を支える人づくり

県民一人ひとりの健康意識を高め健康寿命の延伸を図るとともに、医療・福祉サービスの提供体制の整備や、地域の人々が共に支え合う社会の実現に向けた取組を進め、県民の健康で安心な暮らしを確保します。

また、教育環境の充実に努めながら、ふるさとを愛し、確かな学力と豊かな心を合わせ持った、本県の未来を切り拓く人材の育成を進めるとともに、地域社会や産業の活性化に資する高等教育機関の振興を図ります。